

① 「民間ロケットの開発・実証」採択事業の概要

代表スタートアップ：インターステラテクノロジズ株式会社 事業計画名：小型人工衛星 打上げロケット ZERO の技術開発・飛行実証 フェーズ1事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1交付額上限：20.0億円
代表スタートアップ：株式会社 SPACE WALKER 事業計画名：サブオービタルスペースプレーンによる小型衛星商業打ち上げ事業 フェーズ1事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1交付額上限：20.0億円
代表スタートアップ：将来宇宙輸送システム株式会社 事業計画名：小型衛星打上げのための再使用型宇宙輸送システムの開発・実証 フェーズ1事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1交付額上限：20.0億円
代表スタートアップ：スペースワン株式会社 事業計画名：増強型ロケットの開発、打上げ実証及び事業化 フェーズ1事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1交付額上限：3.2億円

② 「スペースデブリ低減に必要な技術開発・実証」採択事業の概要

A：軌道上の衛星等除去技術・システムの開発・実証

代表スタートアップ：株式会社アストロスケール 事業計画名：大型の衛星を対象デブリとした近傍での撮像・診断ミッション フェーズ1事業期間：～令和7年1月末（予定） フェーズ1交付額上限：26.9億円
--

B：衛星等の軌道離脱促進のための技術・コンポーネント開発・実証

代表スタートアップ：株式会社 Pale Blue 事業計画名：人工衛星の軌道離脱及び衝突回避のための超小型水イオンスラスタ および水ホールスラスタの開発・実証 フェーズ1事業期間：～令和7年9月末（予定） フェーズ1交付額上限：15.8億円
代表スタートアップ：株式会社 BULL 事業計画名：衛星等のデブリ化を防止する軌道離脱促進装置の開発・実証 フェーズ1事業期間：～令和7年3月末（予定） フェーズ1交付額上限：14.7億円

※上記の①、②の掲載順は、いずれも応募申請順に基づくものである。